

課題：農業工学でできそうなセクター間の連携について考えられることを述べよ

農業工学でできるセクター間連携について考える前に我々は農業工学が具体的にどのような可能性を持つのかということをごここで正確に認識しておく必要がある。

農業工学は土木工学を応用して、灌漑、農業給排水、干拓、開拓、圃場整備など農業生産の社会基盤となる大地に関する問題を扱う学問の農業土木学、また、機械工学を応用して、農業機械やコントリーエレベーターなど、農産物の生産、貯蔵、加工のための機械や施設に関する問題を扱う学問の農業機械学などがある。(引用 <http://ja.wikipedia.org/wiki/農業工学> 2015/05/11)

これを見るとむしろ農業工学はセクター間連携により成り立っているのではないだろうか。例えば農業土木学における農業給排水はその事業を成立させるために水利と農業の知識が必須になる。すなわち複数のセクターが絡まなければ達成することができない事業ということができる。同じことが灌漑、干拓にもいえる。農業工学自体をセクターの一つと考えるとできることは更に多くなるだろう。例えば流通セクターと農業工学セクターがうまく連携することができれば貧困層の人たちの農業製品が質の高い形で都市部に運ばれ、収入の増加を見込むことができる。